

動物愛護相談センター整備について

動物愛護相談センター整備基本構想（平成29年3月策定）

- これからのセンターに求められる役割や機能等についてまとめ
 - ＜求められる役割（施設像）＞
 - * 動物との共生を学ぶ普及啓発の中心施設
 - * 新しい飼い主への架け橋となる施設
 - * 事業者等の監視指導の拠点施設
 - * 動物に関する危機管理対応の基幹施設
- 老朽化が進む施設を早期に整備
- 利便性、都民や関係者が集いやすい環境、動物福祉を考慮した飼養管理、効率的な監視指導、必要な敷地面積等を十分に考慮

＜施設整備を具体的に進めていく上で＞

- ◆ 必要な機能の確保、都民や関係者の利便性、業務の効率性等を勘案しながら検討
- ◆ 用地確保や周辺環境等の整備上の制約となる事項についても考慮に入れ検討

動物愛護管理審議会における審議

都における動物愛護相談センター全体のあり方を検討（「中間報告」に反映）

施設整備計画を具体化